

●「文明」が「辺境」の隅々にまで及んだ今日、文物の展示も観光への対応も大きく変化している。そうした文化変容のあり方を人類学の立場から捉え直す試み。

文化のディスプレイ

東北アジア諸社会における博物館、観光、そして民族文化の再編

東北大学 瀬川昌久編

今日、世界各地において「民族文化」や「伝統文化」をターゲットとした観光開発が顕著に見られ、特に「少数民族」「先住民」の立場にある人々や「古来の伝統」を守っているとされる人々の芸能、工芸、建築、儀礼その他が、自国内の多数者や他地域からの旅行者に対して組織的にディスプレイされるようになった。また、時にこうした観光産業と結びつきながら、学術的・半学術的な意図から民族文化・伝統文化の保存と展示に力を注ぐ博物館も、各地に多く存在している。二〇世紀後半の交通情報網の発達と市場経済の浸透のもとで、各々の民族社会それ自体は急速な変化の途上にある場合がほとんどであるが、こうした中で、「民族文化」「伝統文化」の存立にとって、各地の観光産業や博物館の存在が無視できない役割を果たすようになっていく。

しかし、それらは単純に旧来のものを旧来のかたちそのまま保存するのではなく、むしろ「民族文化」「伝統文化」として表象されることを通じて、新たな意味づけがそれらに与えられている場合が少なくない。そうした意味づけの具体的プロセスと、個々の社会の間におけるそれらの微妙な相違を説明することは、近現代社会にみられるある種の普遍的プロセスと、個別社会のもつ固有の文化認識とを同時に理解してゆくための極めて有効な手がかりである。

本著は、東・北アジア各地の事例をもとに、こうした文化のディスプレイと文化の再編・再定義の過程の形態を、具体的かつ理論的に分析して行くことを目的として行われた、東北大学東北アジア研究センターの共同研究「文化のディスプレイと伝統の再編——東北アジア地域における民族観光産業・博物館等の文化的影響力についての研究」（平成二一年度—二三年度）の成果である。……（「序」より）

序

博物館標本資料と基本的学術情報

小谷凱宣

ロシア極東地方の先住民のエスニシティと

文化表象

佐々木史郎

民族文化と公共の記憶の布置

高倉浩樹

中国の少数民族と民族観光業 馬建釗(訳・布施ゆり)

中国南部におけるエスニック観光と「伝統

文化」の再定義

瀬川昌久

中国南部のヤオ族と「盤王節」にみるその

民族文化表象について

瀬川昌久

香港観光協会版ガイド付き香港ツアー

——観光イメージ構築の文脈

岡野正純、王向華

あとがき／索引

▼見る側と見せる側の関係がタテからヨコに変わり、展示やプレゼンテーションにも大きな転換が求められている。観光業や博物館関係者に必携の書。

▼本書は東北大学東北アジア研究センター叢書第八号の市販版である。（風響社アジア研究報告シリーズ第四巻）

体裁

・A5判・並製・カバー
・二六四頁

定価

・二五〇〇円
（本体価格／税別）

発行所 風響社

114-0014 東京都北区田端四一―四一九
電話〇三（三八二八）九二四九
http://www.fukyo.co.jp

注 文 書	
センター取扱品 流通	
発売	風響社 TEL: 03-3828-9249
瀬川昌久編	
文化のディスプレイ	
——中国周縁地域の歴史と現在	
ISBN4-89489-803-9 C3039 ¥2500E	
本体	二五〇〇円
部	

（お客様控え）

ご氏名

ご住所

お電話

月 日